

令和8年度 沖縄型産業中核人材育成事業（内閣府委託事業）
「沖縄発・ユーザー志向の医工 IT 創成人材の育成プログラム」
受講者募集要項

一般社団法人 ライフサイエンスボックス / 国立大学法人 琉球大学

令和8年度 沖縄型産業中核人材育成事業（内閣府委託事業）
「沖縄発・ユーザー志向の医工 IT 創成人材の育成プログラム」
受講者募集要項

1. 概要

世界の医療機器市場がデジタル融合分野を中心に拡大する中、国内では「医療機器産業ビジョン 2024」に基づき、AI や SaMD（プログラム医療機器）等の開発と人材育成が急務となっています。沖縄県は製造業や IT の集積が進む一方、医療機器生産は発展途上ですが、既存企業の高い技術力はデジタル医療分野と強い親和性を持っています。

本プログラムは、令和7年度事業（琉球大学採択）で明らかになった「技術偏重」「医療現場視点の理解不足」「事業化への展開力不足」という課題を踏まえ、令和7年度を「初級編」と位置付け、デジタル技術と医療機器が融合した分野（SaMD 等）の成長を見据えた「中級編」として企画・実施するものです。

本プログラムでは、県内ものづくり企業を主体に、医療ニーズを的確に捉えデジタル化の設計や企画・提案を担える専門人材の育成を目指します。さらに、大学の「メディカル DX・医工連携分野」を拠点に県外組織との連携を強化し、沖縄を開発・実証の拠点とした産業集積の実現を図ります。

2. 受講対象

本プログラムは、**沖縄県内**の企業・機関に在籍し、新規事業の立ち上げ・製品化の経験を持つ方を主な対象とします。医療経験は問いません。以下の分野に携わる方を優遇します。

- 医療 IT 部門の実務担当者
- ものづくり開発・製造に携わる方
- 医療機器メーカーまたは医療機器販売に携わる方
- 大学等の教育者（医工連携に関心のある方）
- 医療従事者で医工連携・事業化に関心のある方

* 学生の応募は不可です。

* 現在職についておられない方は、下記お問い合わせメールまでご相談ください。

3. 育成する人材像

以下の3つの人材像を目指します。

1. AI 等のデジタル技術を用いた医療機器（SaMD など）の開発・市場形成・医療データ利活用基盤の構築ができる人材
2. 実際の医療現場の実装課題や最終受益者の視点、業務負担、経済性・制度面を理解し、アイデアの深掘りや POC（概念実証）に反映できる人材
3. 医療機器開発の関係者と共通言語・共通認識を持ち、ビジネス展開を見据えた製品企画書の作成や事業化まで一貫して繋げられるノウハウを持つ人材

4. 研修内容・カリキュラム

業界の課題である「技術偏重」「現場視点不足」「事業展開力不足」を解消するため、全 5 項目・総計 85 時間のカリキュラムを設定します。受講修了要件は全カリキュラム受講および修了報告書の提出です。

No.	研修項目	内容・評価方法	時間
1	医療機器展示会・医学学会への参加研修	医療機器展示会および国内医学学会（東京）への参加。参加研修レポートの提出（医療機器 2 商品以上について、病理・ニーズ・開発経緯・市場課題を記載）。	32 時間（16 時間×2 回）
2	成功モデルケースの座学受講	製品開発及び協力関係にあるベンチャーや企業・団体の成功モデルケースを学ぶ。毎回、受講者が理解するための質問を 1 つ提出。	15 時間（2.5 時間×6 回）
3	共通言語化・事業化デザイン講義・演習	ニーズ探索、POC、知財化、医療従事者との協力関係構築、インキュベーションについて講義・演習。池野文昭氏（Oshare Solutions LLC/スタンフォード大学）による指導。Google フォームによるテスト形式で採点。	12 時間
4	チーム編成による製品企画書作成・発表	令和 7 年度受講者と新規受講者を交えたチーム編成を行い、新製品の「製品企画書」を作成・発表。評価委員メンバーが採点し合否判定を行う。	16 時間
5	個別面談・フォローアップ	受講者全員に個別面談（1 人あたり 2 時間）を実施。リクエストに応じ病院・企業訪問を研修内容に組み込む。評価方法は委員会にて決定。	10 時間（内面談 2 時間）
合計	全 5 項目	修了要件： 先日程受講 + 修了報告書の提出	85 時間

5. 受講方法・開催場所

01 展示会・学会参加で“現場”を知る

第 39 回日本内視鏡外科学会総会 期間：9 月 3 日（木）～5 日（土） 会場：パシフィコ横浜	第 9 回メディカルジャパン 東京 期間：10 月 7 日（水）～9 日（金） 会場：幕張メッセ
--	---

➡ 上記学会・展示会への参加を予定！ 旅費・交通費は無料（本事業予算にて充当）

02 起業の最先端を学び“事業化”を知る / 03 製品企画書を学び実際に作成する

スタンフォード大学池野文昭氏をはじめ、医療・工学・ビジネスの最前線で活躍する国内外の専門家が結集。ニーズ探索から事業化まで、本物の実践知を持つメンターたちが受講者一人ひとりの挑戦に伴走します！個別面談やフォローアップも実施予定！

【注意】

展示会・学会参加：国内学会会場（横浜・幕張）にて実施。旅費・交通費は事業費より支給。
集中講義・演習：休日や平日勤務時間内で実施する可能性がございます。予めご了承ください。

【主な開催会場（候補）】

- 琉球大学（駐車場開放可）
- 那覇：産業支援センター／八汐荘

6. 日程

公募期間	第1次募集：6月18日（木）～7月17日（金）23:59まで 第2次募集：7月21日（火）～7月31日（金）23:59まで
研修期間	令和8年8月17日の週（予定）～令和8年12月下旬
最終報告会	令和8年12月下旬頃（予定）
研修修了	令和8年12月下旬（予定）

主なスケジュール（予定）

項目	時期（予定）	内容
募集期間	6月18日～	第1次募集： 6月18日（木）～7月17日（金）23:59まで 第2次募集： 7月21日（火）～7月31日（金）23:59まで
審査期間	8月1日～7日	書類選考
展示会・学会参加研修 ①	9月3日～5日	医療機器展示会及び医学学会への参加
展示会・学会参加研修 ②	10月頃	国内学会・展示会参加
研修	8月下旬～12月	4研修内容・カリキュラム項目2～5を学ぶ
研修修了	12月下旬（予定）	最終プレゼン・テスト等
修了証授与	2月中下旬	

7. 募集定員

受講想定人数：20名程度（参加予定企業10社・20名以上）

8. 受講者選定

受講者は、下記の審査に基づき選定します。

【選考ポイント】

- 全カリキュラム参加の可否（全カリキュラムに参加必須）
- 承諾者（所属組織の上長から参加許可を得られる方）からの推薦内容
- 事前調査の内容（新規事業立ち上げ・製品化の経験等）

9. 受講申し込み手続き

受講希望者は、以下の Google フォームより必要事項を入力の上、応募期間内にお申し込みください。

フォームには、受講申込書・承諾書・事前調査シートの記載事項がすべて含まれています。別途書類の提出は不要です。

申込方法：下記 Google フォーム URL よりお申し込みください。

申込フォーム： <https://forms.gle/wbg3jDgxDymv595L7>

応募期間：

第1次募集：令和8年6月18日（木）～令和8年7月17日（金）23:59まで

第2次募集：令和8年7月21日（火）～令和8年7月31日（金）23:59まで

ホームページ： <https://sm1055.skr.u-ryukyu.ac.jp/churamed25/news/1008/>

* フォーム送信をもって申し込み完了となります。

* **第1次募集で定員に達した場合、第2次募集は行いません。**

* 審査結果については、応募者全員にメールにて通知します。

10. 受講料

無料。

11. 修了要件

- 全 85 時間で全科目出席（業務都合による欠席は認められない）
- テストで基準点以上を得点
- 修了報告書の提出
- 製品企画書の発表（第4項目：評価委員による合否判定）
- 各講座における効果判定テスト・アンケート等への回答・提出

* 遅刻・早退は原則認めませんが、やむを得ない場合は事前に事務局に相談の上、必要な補習等を行うこと。

12. 修了証の交付

修了要件を満たした方に対し、内閣府担当大臣名の修了証を交付します。

13. 秘密保持

研修で使用する資料は事務局の許可なく不当に流用・配布・譲渡・公開しないこと、また研修において知り得た情報についても、研修期間中および終了後も機密保持することをお約束ください。

14. 実施主体

一般社団法人 ライフサイエンスボックス（幹事法人）

国立大学法人 琉球大学（共同実施）

（内閣府の委託により実施）

15. 問い合わせ先

事務局（一般社団法人ライフサイエンスボックス×琉球大学）

担当：高谷

E-MAIL：program@lifescience-box.jp

HP：<https://sm1055.skr.u-ryukyu.ac.jp/churamed25/apply/>